

# 気合いよし！かわらぬ情熱！

## こどもの学び、育ちの場の充実

年間の入館者が80万人に及ぶ武雄市図書館の側にこどもや子育て中の親子が学べる新たな場、こども図書館が建築されます。武雄市図書館のキッズコーナーやイベントが人気で、さらなる子育て環境の充実を図るため取り組まれます。平成28年度は測量や設計などが予定されています。予算額[4196万円]

## 安全安心の学校づくり

安全安心の学校づくりの一環として、北方小学校教室棟などの大規模改造工事、山内西小学校の屋内運動場大規模改造工事などが実施されます。武雄北中学校については校舎の設計業務が取り組まれます。児童・生徒は未来の武雄市を支える大切な人材、教育環境の充実はこどもたちの夢を育む基礎となります。予算額 [7億5286万円]

## 安全で快適な交通基盤の実現

武雄市は九州北西部における交通の要衝という地の利があり、佐賀県南西部の商業をリードしています。東西に貫く道路は国や県により整備が進んでいますが、東部開発地域や国道バイパス延伸計画地域の道路整備は課題といえます。新年度では新武雄病院周辺の道路整備などが計画されており、舗装の補修も含めた着実な整備が期待されます。予算額 [3億7299万円]

## さらなる観光客誘致

国内はもとより、韓国や中国など海外からの観光客の積極的な誘致を進めるには、武雄の魅力を磨き発信することが不可欠です。眠っている魅力、気付いていない魅力を掘り起すため、新たなトレッキングコースの整備や民間の力を活用する観光誘客チャレンジ補助事業がスタートします。佐賀県は観光客が急激に増えています。この勢いをさらに活かす積極的な取り組みが期待されます。予算額 [300万円]

## 市消費生活センターを条例で規定

市には消費者トラブルについて相談する窓口が設けられています。専門の相談員が常駐し、「身に覚えのない請求書が届いた」、「訪問販売で無理やり契約させられた」などのトラブルの相談を受け付けています。条例は消費者安全法の改正に伴い消費生活センターの組織や運営に関する項目を規定することにより、消費トラブルの防止、解決などを目指しています。

## 高齢者の健康事業充実のため

### 敬老祝の年齢見直し

効果が改善されたインフルエンザワクチン接種の実施や介護事業などの充実に振り向けるため、敬老祝金を支給する年齢の見直しが行われます。85歳と95歳の方への支給がとりやめられることになりました。支給を期待されていた方々にとっては残念ですが、高齢者の健康増進や介護事業の充実に財源が活かされます。なお、80歳の方は5千円、90歳の方は1万5千円、100歳の方には5万円の敬老祝金が支給されます。

## 過疎地域自立促進計画を更新

5年前に作られた武雄市過疎地域自立促進計画（北方町が対象地域）の期間が満了するため、平成28年度から平成32年度までを計画期間とする新たな過疎計画が策定されました。計画には、産業、福祉、教育など様々な分野における現況と問題点、対策と事業計画が示めされています。過疎計画に基づく各種事業を実施する際は事業財源の調達に過疎債を用いることができるなど、国からの支援を得ることができます。地域発展に寄与する事業の推進が期待されます。